

2024（令和6）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

今年度は、会館運営として主に事業利用以外の会館利用者の高齢化対策と自主活動グループからの要望により、緊急の個別支援を行った。また、会館利用者の課題として、障害者福祉会館運営協議会にて、中野区障害者福祉障害者施設係、中野区地域支えあい推進部北部地区担当及び鷺宮すこやか福祉センター担当と情報共有を行った。

大規模災害対策として、BCP及び2次避難所要綱の見直し等を行った。

生活介護事業では、東京都重症心身障害児者通所事業の対象者で呼吸器管理が必要な利用者に対し、医療的ケア送迎ガイドラインに添って、看護師のバス添乗を実施した。

自立訓練では、課題である利用率の向上に向け、引き続き、相談支援専門員やケアマネージャーとの関係を深め事業説明などを行った結果、関係機関の研修などで事業について話をする機会を得て、新規利用者が、増加した。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

① BCP に添った大災害時の訓練の実施

巡回バス危機管理マニュアルの大災害発生時のバス運行中止やその手順をバス利用者、バス乗務員と添乗員に、再度の説明と確認を行った。また総合防災訓練実施時に、地下の避難路確保のため、各部屋の施錠ルールを見直した。

② 事業利用以外の会館利用者の高齢化に伴う支援

高齢化により、心身ともに単独でのバスポイントからの自宅までの安全性に課題のある利用者が増えてきた。中野区バス担当者やバス乗務員と検討し、利用者自身やその家族に、バスポイントからの単独の帰宅について確認を行った。また、自主活動グループからの要望により、1名の方の介護保険サービスへの移行について、ケアマネージャーへの状況説明などの支援を行った。

障害者福祉会館運営協議会にて、課題として取り上げ情報共有を行った。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

① 関係機関との連携強化と利用率向上

区内の相談支援専門員やケアマネージャーに事業内容を都度伝え、事業理解の促進を行った。その上で、地域における介護保険外サービス研修を開催時に、紹介で自立訓練事業について講和する機会を設けることに繋がった。ケアマネージャーからの紹介は昨年度が3件だったものが5件と上昇した。

② 社会とのつながりや交流を深める訓練の実施

会館まつりで販売ブースの担当を実施。お釣りの管理や来館者の呼び込みを実施した。会館職員ではなく、一般の方との関わりの機会として、緑野小学校のおまつりにはボッチャを運営した。子供たちとの交流も含めて地域参加、社会参画のイメージをつけることができた。

③ 地域活動支援センターの利用者の新規受け入れ

広報誌による事業のプログラム内容の紹介やSNSにて事業の活動に関する公開を実施した。反響は少なく、事業希望は年間で2件。利用には至らなかった。

(3) 生活介護事業

① 医療的ケア利用者の通所に向けた環境整備

医療的ケアが必要な利用者に合わせレイアウト変更を行い、支援や活動への参加手段などを工夫することで快適に活動や行事に参加できた。また、医療的ケアが必要な利用者の通所について「送迎バス乗車ガイドライン（医療的ケア者）」に沿い、各関係機関と連携し呼吸器管理利用者の家族無し送迎（看護師添乗）が可能となった。

② 支援力の向上に向けた取り組み

日頃から、日中支援の中でグループを超えた交換研修を行い、他グループ利用者に関わる機会を作ることで、どの利用者でも支援ができる職員の増大につながった。また、急な職員欠席が出た際にも、職員間でフォロー体制を作ることができた。

③ 目的を持った活動の見直しと実施

行事や活動の再開を通して、目的を職員間で確認し、感染症対策を取りながら再開した。また、家庭の緊急時応援体制を確認したうえで、今年度より、宿泊行事も再開した。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画1件、更新11件、モニタリング12件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めるとによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

- | | |
|----------|---|
| ① 名称 | 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
中野区障害者福祉会館 |
| ② 所在地 | 東京都中野区沼袋4-20-18 |
| ③ 電話番号 | 03-3389-2171 |
| ④ FAX番号 | 03-3389-2175 |
| ⑤ Email | na_shoukan@ikuseikai-tky.or.jp |
| ⑥ ホームページ | https://nakanoshoukan.ikuseikai-tky.or.jp |

(3) 設立

- ①設立年月日 昭和54年10月1日
- ②施設種別 障害福祉サービス（生活介護事業）
障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練））
障害福祉サービス（特定相談）
- ③事業開始 昭和54年10月1日 中野区心身障害者福祉会館開設
昭和57年7月1日 中野区障害者福祉会館に変更
平成21年1月1日 移行準備室運営開始
平成21年4月1日 指定管理者として運営開始
平成26年4月1日 指定管理者として第2期運営開始
平成27年11月1日 特定相談支援事業開始
平成31年4月1日 指定管理者として第3期運営開始
令和6年 4月1日 指定管理者として第4期運営開始

(4) 施設の規模

敷地面積		2,035.425㎡
延床面積	障害者福祉会館	2,650.790㎡
	沼袋区民活動センター	1,135.770㎡
	防災備蓄倉庫	188.010㎡
構造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 運営								
常勤	職種	男性	女性	パート・アルバイト	職種	男性	女性	
	施設長		1		生活支援員			
	副施設長				事務員			
	サービス管理責任者				看護師（正・准）			
	支援係長				栄養士（管理含む）			
	主任生活支援員				調理員（役職者含む）			
	事務係長				理学療法士			
	事務主任				作業療法士			
	生活支援員				言語聴覚士			
	事務員		1		管理員	3	1	
	看護師（正・准）				小計	3	1	
	栄養士（管理含む）				嘱託	内科医師		
	調理員（役職者含む）					精神科医師		
	理学療法士			理学療法士				
	作業療法士			作業療法士				
	言語聴覚士			言語聴覚士				
	小計	0	2					
	契約	生活支援員			小計	0	0	
		事務員			合計	3	3	
		看護師（正・准）						
栄養士（管理含む）								
調理員（役職者含む）								
理学療法士								
作業療法士								
言語聴覚士								
再雇用								
小計		0	0					

② 自立訓練・地域活動支援センター事業								
	常勤			パート・アルバイト	嘱託			
	職種	男性	女性		職種	男性	女性	
常勤	施設長		1	パート・アルバイト	生活支援員		1	
	副施設長				事務員			
	サービス管理責任者	1			看護師（正・准）		1	
	支援係長				栄養士（管理含む）			
	主任生活支援員	1			調理員（役職者含む）			
	事務係長				理学療法士	1		
	事務主任				作業療法士			
	生活支援員		1		言語聴覚士		1	
	事務員		1					
	看護師（正・准）		1		小計	1	3	
	栄養士（管理含む）				嘱託	内科医師	1	
	調理員（役職者含む）					精神科医師		
	理学療法士		1			理学療法士		
	作業療法士		1			作業療法士		
	言語聴覚士					言語聴覚士		
			整形外科医師	1				
小計	2	6	小計	2	0			
契約	生活支援員			合計	5	9		
	事務員							
	看護師（正・准）							
	栄養士（管理含む）							
	調理員（役職者含む）							
	理学療法士							
	作業療法士							
	言語聴覚士							
	再雇用							
	小計	0	0					

③ 生活介護事業							
	常勤				パート・アルバイト		
	職種	男性	女性		職種	男性	女性
	施設長		1		生活支援員	1	2
	副施設長				事務員		
	サービス管理責任者	1			看護師（正・准）		1
	支援係長				栄養士（管理含む）		
	主任生活支援員	1			調理員（役職者含む）		
	事務係長				理学療法士	1	
	事務主任				作業療法士		2
	生活支援員	4	5		言語聴覚士		
	事務員		1				
	看護師（正・准）	1	1		小計	2	5
	栄養士（管理含む）			嘱託	内科医師		
	調理員（役職者含む）				精神科医師	1	
	理学療法士				理学療法士		
	作業療法士				作業療法士		
	言語聴覚士				言語聴覚士		
					歯科医師		1
	小計	7	8		医療的ケア 指導医	1	
	生活支援員				小計	2	1
	事務員				合計	11	14
契約	看護師（正・准）						
	栄養士（管理含む）						
	調理員（役職者含む）						
	理学療法士						
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	再雇用						
	小計	0	0				

④ 計画相談支援事業								
	④ 計画相談支援事業				④ 計画相談支援事業			
	職種	男性	女性		職種	男性	女性	
常勤	施設長		1	パート・アルバイト	生活支援員			
	副施設長				事務員			
	サービス管理責任者				看護師（正・准）			
	支援係長				栄養士（管理含む）			
	主任生活支援員				調理員（役職者含む）			
	事務係長				理学療法士			
	事務主任				作業療法士			
	生活支援員	2			言語聴覚士			
	事務員		2		小計	0	0	
	看護師（正・准）				嘱託	内科医師		
	栄養士（管理含む）					整形外科医師		
	調理員（役職者含む）			理学療法士				
	理学療法士			作業療法士				
	作業療法士			言語聴覚士				
	言語聴覚士							
	小計	2	3	小計	0	0		
	契約	生活支援員			合計	2	3	
事務員								
看護師（正・准）								
栄養士（管理含む）								
調理員（役職者含む）								
理学療法士								
作業療法士								
言語聴覚士								
再雇用								
小計		0	0					

② 職員人事

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
採用	R6/4/1	支援員	常勤		

採用	R6/7/1	支援員	常勤		
採用	R6/10/1	支援員	パート		
採用	R6/10/1	看護師	パート		
採用	R6/12/1	支援員	パート		

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
退職	R6/9/30	支援員	常勤		
退職	R6/9/30	支援員	パート		
退職	R7/3/31	支援員	パート		
退職	R7/3/31	作業療法士	パート		
退職	R7/3/31	作業療法士	パート		

事由	日付	職名	氏名	備考
異動転入	R6/4/1	支援員		
異動転入	R6/4/1	支援員		
異動転出	R7/3/31	支援員		
異動転出	R7/3/31	支援員		

(6) 利用者状況（令和7年3月末日）

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア. 利用対象者

i. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。ただし言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は基本的に不可だが、区と確認を行ったうえで利用を受け入れている。

ii. 定員 20名（現員 10名）

イ. 性別・年齢構成（令和6年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	1名	0名	2名	1名	2名	0名	6名
女性	0名	1名	0名	0名	1名	1名	1名	4名
合計	0名	2名	0名	2名	2名	3名	1名	10名

※最高年齢者68歳・最低年齢者24歳・平均年齢49.6歳

ウ. 障害程度（令和6年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	1名	2名	2名	0名	0名	0名	5名
2種	1名	0名	1名	1名	1名	0名	4名
合計	2名	2名	3名	1名	1名	0名	9名

オ. 利用者の利用前の状況（令和6年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	3名	0名	0名	7名	0名	10名

カ. 家族状況・主たる介護者の状況

家族介護者	両親	両親いずれか	兄弟姉妹	その他	合計
両親	3名	0名	0名	0名	3名
両親いずれか	0名	0名	0名	0名	0名
兄弟姉妹	0名	0名	1名	0名	1名
GH・世話人	0名	0名	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名	6名	6名
合計	3名	0名	1名	6名	10名

キ. 福祉事務所担当課別人数

障害福祉課	生活援護課	介護保険課	合計
7名	2名	1名	10名

ク. 利用実績

	定員	入所	退所	月末現員	事業日数	利用延数	利用率(%)
4月	20	1	0	6	20	87	21.7
5月	20	0	2	6	20	72	18
6月	20	0	0	4	20	52	13
7月	20	0	0	4	22	51	12.7

8月	20	2	0	6	21	68	17
9月	20	2	1	7	20	80	20
10月	20	1	0	8	22	96	24
11月	20	0	1	8	20	95	23.7
12月	20	1	0	8	22	82	20.5
1月	20	1	0	9	19	82	20.5
2月	20	1	0	10	18	91	22.7
3月	20	0	1	9	20	94	23.5
合計					224	868	19.7

※平均利用率： 19.7%

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 定員 15名（午前：7名 午後：8名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	0名	7名	4名	11名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	2名	2名
合計	0名	0名	0名	0名	7名	6名	13名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	5名	6名	0名	0名	0名	0名	11名
2種	0名	0名	0名	1名	1名	0名	2名
合計	5名	6名	0名	1名	1名	0名	13名

オ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末現員	事業日数	利用延数	利用率(%)
4月	15	0	0	15	20	98	32.6
5月	15	0	0	15	20	103	34.3
6月	15	0	0	15	20	98	32.6
7月	15	0	0	15	22	103	31.2
8月	15	0	0	15	21	94	29.8
9月	15	0	0	15	20	87	29.0
10月	15	0	0	15	22	103	26.3

11月	15	0	0	15	20	92	30.6
12月	15	0	0	15	22	104	30.6
1月	15	1	1	14	19	88	29.8
2月	15	0	1	13	18	81	30.0
3月	15	0	0	13	20	87	29.0
合計					224	1138	30.4

※平均利用率：30.4%

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。

障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員23名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	1名	6名	4名	2名	0名	13名
女性	1名	5名	2名	0名	2名	10名
合計	2名	11名	6名	2名	2名	23名

*平均 男性29.6歳 女性31.2歳 全体30.3歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
2度	11名	0名	1名	0名	0名	0名	12名
無し	0名	8名	1名	0名	0名	0名	9名
合計	12名	9名	2名	0名	0名	0名	23名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	5名	3名	15名	23名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援卒業	区立卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	1名	22名	0名	0名	0名	23名

キ. 保護者状況

家族 介護者	両親	両親 いずれか	兄弟姉妹	その他	合計

両親	18名	0名	0名	0名	18名
両親いずれか	0名	3名	0名	0名	3名
兄弟姉妹	0名	0名	1名	0名	1名
GH・世話人	0名	0名	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名	1名	1名
合計	18名	3名	1名	1名	23名

ク. 福祉事務所担当課別人数

障害福祉課				合計
障害者施設係	障害者支援係	障害者相談係	認定給付係	
3名	2名	1名	1名	7名

ケ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末 現員	事業 日数	利用 延数	利用率 (%)
4月	32	1	0	25	20	321	64.2
5月	32	0	0	25	21	347	66.0
6月	32	0	0	25	20	336	67.2
7月	32	0	0	25	22	363	66.0
8月	32	0	0	25	21	340	64.0
9月	32	0	0	25	19	323	68.0
10月	32	0	0	25	22	340	61.8
11月	32	0	1	24	20	308	61.6
12月	32	0	0	24	20	294	61.2
1月	32	0	1	23	19	297	65.9
2月	32	0	0	23	18	283	68.3
3月	32	0	0	23	20	291	63.2
合計					242	3843	64.78

※平均利用率： 64.78%

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）5台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内9コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	620回	2779名
紫バス	670回	3676名
青バス	586回	4438名
緑バス	586回	3794名
れもんバス	527回	875名
りんごバス	560回	1700名
いちごバス	477回	1440名
すいかバス	589回	1312名
やよいバス	484回	2442名
合計	5099回	22456名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前9時から午後10時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00~12:00	2	13:00~17:00	3	18:00~22:00

b. 利用状況

障害者団体

施設	件数	人数
多目的室	0件	0名
調理室	22件	266名
音楽室	63件	884名
スポーツ訓練室	247件	1772名
合計	332件	2922名

一般団体

施設	件数	人数
調理室	50件	893名

音楽室	81 件	1093 名
スポーツ訓練室	2 件	140 名
合 計	133 件	2126 名

(2) 自立訓練事業（機能訓練）事業

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	8	8	7	7	6	5	6	6	6	7	7	6	79
新規	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
終了	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	5

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T：理学療法 O T：作業療法 S T：言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	45	43	51	37	38	38	37	39	38	41	33	35	475
O T	27	24	26	17	21	20	22	26	28	25	24	25	285
S T	3	7	8	7	7	5	10	14	13	10	10	9	103

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着（午前の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着（午後の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。

15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

【成果】

各種訓練	取組	成果
P T (理学療法訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種体操プログラム ・屋内、屋外歩行及び屋外電動車いす操作訓練 ・体力向上訓練 (バイク等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能の向上及び維持 ・利用者の生活圏域が広くなり、生活スキルの改善。
O T (作業療法訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業 (PC 操作訓練、編み物、調理等) 訓練 ・集団 (ボッチャ、テーマ別グループワーク) 訓練 ・外出 (計画、実施、振り返り) 訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障害に関する自己理解の促進 ・復職及び福祉就労に向けた作業能力の向上
S T (言語聴覚療法)	<ul style="list-style-type: none"> ・言語訓練 (注意課題計算、漢字課題、単語抽出課題等) ・外出訓練 (地理や計画に関する記憶や注意確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の言語に関する能力向上 ・ご家族、介助者とのコミュニケーションの向上 (利用者のできることや難しいこと、相互理解の向上)

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	13	177
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	98	103	98	103	94	87	103	92	104	88	81	87	1138

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	3名	散歩、外出、装飾作り等
スロー☆ワーキング	3名	俳句作成、体操、散歩
つながりねっと	2名	スマホやPCを活用、SNSを活用して地域交流
エンジョイセルフ	2名	自主体操、レクリエーション、GWを通して社会生活力の向上
おしゃべり工房	1名	個人制作、レクリエーション等
ミュージック	3名	曲に合わせての楽器演奏、歌唱、発声練習等
SHIP	4名	高次脳機能障害者を対象としたグループ活動 社会生活技術訓練の試行
自主トレーニング	2名	個別プログラムに沿った自主的な運動等
体操	2名	スポーツレク、体操等
自主製作	3名	手芸、外出

【成果】

提供内容	取組	成果
地域活動（上記プログラムの提供）	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応（生活基盤の相談及び援助） ・生活スキルに対する集団（調理、創作、外出）プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で実施する上でコミュニケーション能力向上 ・相互の病気の進行や障害特性の理解

(4) その他

① 入浴事業

ア. 利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、ヘルパー等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴 (現員 0 名)			b. 介助入浴 (現員 1 名)		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度
—	—	—	女性	24	—

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	5	9	8	8	8	8	9	53

② 講座・講習会

ア. 利用対象者 (中野区内在住、在勤の方)

イ. 定員 (講座・講習会により変動あり)

ウ. 利用状況

a. 講座 (定例・入門)

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座 (視覚障害)	第1火曜	全5回	41名
編み物講座	第1月曜	全9回	44名
座位エクササイズ講座	第2・4木曜	全20回	138名
書道講座	第2水曜	全10回	23名
レク体操講座	第1金曜	全8回	15名
入門講座	不定期	全5回	41名

b. 講習会。

点字講習	通年	全 10 回	利用人数	77 名
------	----	--------	------	------

③ 利用者等への相談支援

ア. 福祉サービス利用者に関する相談及び支援

イ. 専門職による相談

ウ. 支援体制の確立

自立訓練

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ア	9	6	5	7	7	5	9	8	6	6	7	15	150
イ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ウ	0	0	1	2	1	1	2	2	0	0	0	1	10

地域活動支援センター

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ア	19	11	11	4	0	2	16	13	18	18	19	8	139
イ	1	2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	8
ウ	0	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	9

(5) 生活介護事業

① 日常生活支援

個別支援計画に基づき、作業や日中活動の場の提供を行った。年 1 回の個別面談を含め、連絡帳や電話連絡で家庭との連携を取り、利用者の健康状態や様子を把握し日々の支援を行った。

② 意思決定支援

利用者の自治会活動（ひまわり会）では、会長、副会長の選出は選挙方式で行い、立候補者はそれぞれ選挙ポスターを作り、各利用者の投票により決定した。8月のサマーパーティーや沼リンピックの競技種目、年度末の納め会の内容などは利用者の意見を基に決定し、企画、進行の役割を担当した。行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

また、園芸活動で栽培する野菜や苗などの種類を決める際にもひまわり会を開催し、絵や写真を使用し、利用者の意見を聞き取り、決定した。

③ 社会生活支援

コロナ感染症の5類移行に伴い、日中活動や行事の目的を見直し、十分に感染症対策を取りながら再開した。

ア. パーソナル外出

コロナ感染者数の増減を踏まえ、実施時期を検討決定し実施した。サンサングループは、原宿散策、池袋散策、東京タワー散策に出かけた。ポレポレグループは焼き芋フェスや、スイーツ外食等に出かけた。また、利用者からの要望があったカラオケでは、サンポレの両利用者が参加して楽しんだ。

実施日	外出名	利用者数	職員数
11月8日	やきいもフェスTOKYO	4名	4名
12月17日	原宿散策	3名	3名
2月18日	池袋サンシャインシティー	3名	3名
2月25日	東京タワー見学	3名	3名
3月18日	カラオケ	2名	3名
3月27日	スイーツ買い物(パティスリーレザネ フォール)	3名	3名

イ. 昼食外出

昼食の時間にお店に行き、メニュー表や実物を見ながら食べたい物を自身で選び食事を摂った。また、医療的ケアが必要な方は、貫井福祉園に行き、部屋をパーテーション等で囲い、環境を整えパンの購入をしながら経管栄養を安全に実施した。

実施日	昼食場所	利用者数	職員数
6月3日	えごたいえ	5名	4名
6月10日	えごたいえ	5名	3名
6月25日	練馬区立貫井福祉園	2名	3名
7月11日	練馬区立貫井福祉園	3名	5名
7月18日	えごたいえ	2名	2名

ウ. 宿泊行事

コロナ感染症対策で令和2年度から中止となっていた、宿泊行事を再開している。今年度に関しては宿泊することを目的と考え、また、緊急時に夜間の迎えが可能な家庭に限り実施した。医療的ケア利用者は保護者同伴の元、参加可能とし、1名参加した。

エ. 調理実習

今年度も引き続きコロナ感染症対策を行いながら、調理実習を行った。通常のクッキー作りの他に、昨年、好評だった「ちんすこう」作りでは、今年も会館祭りで販売し、完売となった。

バレンタインデー企画では、女性利用者が男性陣へ、ホワイトデー企画では、男性利用者が女性陣へ向けにお菓子づくりを行った。出来上がった焼き菓子は活動時間に皆で試食し、お土産で各家庭に持ち帰り、ご家族からも好評を頂いた。

実施日	調理実習名	参加利用者数
5月22日	クッキー作り	16名
7月22日	クッキー作り	8名
9月11日	クッキー作り	8名
9月18日	ちんすこう作り	8名
12月18日	クッキー作り	8名
2月14日	バレンタインデー企画（濃厚ブラウニー）	8名
3月14日	ホワイトデー企画（マフィン）	9名

④ 表現活動

月に3回実施している音楽活動では、利用者のニーズに合わせてテンポ良く歌う元気な内容と、穏やかに楽器を鳴らす音楽を中心とした活動に分け実施した。世界各国の色々な民族楽器を利用者が自分で選び、曲に合わせて音を奏で、様々な音を楽しんだ。

⑤ 作業活動

作業活動で得た利益については、東京都からの助言により、年度末に利用者に分配している。

ア. 紙すき

行先	日程	利用者数	職員数
国立オリンピック記念青少年総合センター	10月17日 10月18日	4名	4名
国立オリンピック記念青少年総合センター	1月16日 1月17日	3名	3名
国立オリンピック記念青少年総合センター	1月23日 1月24日	3名	3名

内容	a. 牛乳パックを再生利用し、作品作りを行った。 b. 作業工程を細分化し、それぞれの利用者特性に合わせた作業を提供した
実績	暦、館内の装飾、年賀状
今後に向けて	作業工程をもっと細分化する事で重心利用者も関われる仕事を見つける。

イ. ビーズ

内容	a. 利用者それぞれの能力に合わせてビーズの大きさや長さを変えて実施した。 b. 指先の運動も兼ね、OTと連携し実施した。
実績	メガネチェーン
今後に向けて	ビーズ作品のバリエーションを広げる。

ウ. クッキー作り

内容	a. 利用者が皆、携われるように工程を細分化した。 b. 重心利用者は生地 of 攪拌やその感触や温度を肌で感じ取ってもらった。
実績	クッキー、ちんすこう
今後に向けて	家族などに楽しみにしてもらえよう種類を増やす。

エ. 暦作り

内容	a. それぞれの季節をモチーフとした絵柄を決め、肯定を細分化し、パーツを作成した。 b. 暦の日付はスタンプを押して作成した。
実績	(配布箇所) やはたみずのとう幼稚園、中野区立図書館、中野区シルバー人材センター、歴史民俗博物館、北部すこやか、芝信用金庫、ふくろうサポート、中野区立緑野中学校、中野区区民活動センター、すまいる高円寺、放課後デイサービスセンターみずいろ
今後に向けて	配布場所の拡大。

⑥ 健康維持・体力作り

ア. 散歩

目的	体力維持、身体機能維持、ストレス発散
内容	利用者の体力や歩行スピードによってチームを分け、コースを設定した。また、その日の体調や情緒に合わせて実施した。
成果	入所時より、歩行距離が長くなった。夜の睡眠確保ができた。

イ. ストレッチ

目的	身体機能維持、可動域の維持、拘縮予防
内容	OT、PT（それぞれ週1回）と連携し理学療法や作業療法を実施した。
成果	身体機能の低下を防ぎ、拘縮の進行が遅滞した。

ウ．レクリエーションスポーツ

目的	身体機能維持、他チーム利用者との関り
内容	行事やレクリエーションの時間に、ボッチャやパン食い競争、的あて等をサンサングループ、ポレポレグループ対抗で実施した。同等に競技ができるように補助具を使用した。
成果	事業利用者全員が参加することで一体感がでた。楽しみながら運動量の確保ができた。

⑦ 趣味・余暇活動

ア．音楽活動

コロナ感染症対策を取りながら、活動内容も工夫し実施した。

また、音楽活動を行う際に、テンポ良く歌う元気な内容とゆっくりとした活動と、穏やかな音楽を中心とした活動に分け、ニーズに合わせて実施した。

イ．スヌーズレン

重心利用者の体力低下時のリラックス効果や、情緒不安定時の気持ちの切り替えの際に実施した。また、スヌーズレン実施の際にマッサージをしたり、ストレッチも取り入れ実施した。

⑧ その他行事報告

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
6月13日	ぬまりんピック	中野区障害者福社会館	18名	0名
8月8日	サマーパーティー	中野区障害者福社会館	18名	0名
12月27日	忘年会	中野区障害者福社会館	14名	0名
3月31日	納め会	中野区障害者福社会館	17名	0名

(6) 特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15:30～17:00

③ 利用者数

ア．令和6年度新規計画作成 1件

- イ. 更新 11件
- ウ. モニタリング 12件

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み・方針

- ① 法人の理念（統一ミッション・活動規範・虐待防止 credo）に基づき、利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を徹底する為、職員は「東京都手をつなぐ育成会虐待防止要綱」「東京都手をつなぐ育成会身体拘束等の適正化のための指針」を遵守し、日常的に自分の支援を振り返る機会を設けた。
- ② 虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を組織した。朝礼や各事業の会議内で、権利擁護等の意識を全職員が日頃から意識する機会を設けた。

委員会は、奇数月末に開催し各事業から職員が参加した。内容は支援の中で他職員の良かったと思えたことやグレーな支援のことについて話し合った。身体拘束については、支援の見直しの機会を設けたが現状維持がほとんどであった。

(2) 虐待防止体制

① 法人本部虐待防止体制

法人	虐待防止責任者	理事長
	虐待防止マネージャー (相談窓口)	
	虐待防止委員会	委員長：(事務局長) (理事長) (副理事長) (副理事長) (理事) (理事) (弁護士) (社会福祉士) (虐待防止マネージャー)

② 虐待防止体制

事業所	虐待防止責任者	(施設長)
	虐待防止マネージャー	生活介護；(主任支援員) 自立訓練：(主任支援員)

	(相談担当者)	
	虐待防止委員会	委員長 (施設長) 委員 (主任支援員) (主任支援員) (支援員) (看護師)
		外部委員 (元東京都手をつなぐ育成会施設長)

(3) 身体拘束等適正化体制

身体拘束等適正化責任者	(施設長)
身体拘束等適正化委員会	委員長 (施設長) 委員 (主任支援員) (主任支援員) (支援員) (看護師)

(4) 虐待防止・身体拘束等適正化年間実績

① 委員会及び全体の動き

5月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り (グレーゾーンについて) ② 今後の予定確認 ③ 良いと思った支援について	7名
	身体拘束適正化委員会	昨年度の件数確認	5名
7月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り (グレーゾーンについて) ② ABA研修の振り返り ③ 良いと思った支援について	7名
	身体拘束適正化委員会	振り返り (1件追加)	5名
10月	虐待防止委員会	① 支援の振り返り ② 良いと思った支援について	7名
	身体拘束適正化委員会	振り返り (1件解除)	5名
3月	事例検討グループワーク	① 声掛け事例について他の言い方を検討する ② 自身の支援を振り返る ③ 支援で意識するポイントの共有する	23名

② 研修等

7月	内部研修(外部講師による研修)主任対象	「虐待防止主任支援員対象研修」 講師：(外部委員)	3名
7月	内部研修(外部講師による研修)	「虐待防止を事例から学ぶ」 講師：(外部委員)	23名

(セルフチェック実施)

実施日時	実施人数／対象人数
9月(自立訓練)	9名／9名
9月(生活介護)	17名／17名
3月(自立訓練)	7名／7名
3月(生活介護)	17名／17名

※ (研修に参加できなかった職員は、録画した動画視聴・もしくは参加職員の研修報告書を読みこみ、研修内容を確認し、報告書を提出した。)

③ 事例検討

ア. 虐待防止関連

【事例検討等実績】		
5月	31日	虐待防止委員会にて、事例検討スケジュールを立てた。
3月	28日	事例検討グループワーク(事例検討、意見交換、今後の支援について気づきの共有)
【事例検討結果】		
<p>声かけも否定的ではなく、肯定的な言葉に変え、「相手の立場に立った感覚」を意識するという視点を持つこと。 声かけも命令口調にならないような伝え方を意識してチームで共有していく。 →日中の声かけも否定的な言葉ではなく肯定的にリフレーミングした言葉使いで声掛けでの支援が増え、利用者も不快な思いをせずに生活できている。</p>		

(5) 苦情解決体制

生活介護事業、自立訓練事業で、各利用者や家族の相談を受け、対応した。結果、苦情となる案件は確認されなかった。

事業所	苦情解決責任者	施設長
	苦情受付担当者	生活介護事業：主任支援員 自立訓練事業：主任支援員
	苦情解決第三者委員	民生委員

	苦情受付実績	0件
法人	苦情解決責任者	理事長
	苦情受付担当者	
	苦情解決第三者委員	

(6) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア. 施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ. 個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ. システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

また、情報セキュリティに関する職員園内研修（動画視聴）を実施し、個人情報の取り扱いに関しての意識を高めた。

(7) 障害者差別解消法への対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

対応責任者	(施設長)
対応受付窓口	(生活介護事業：主任支援員) (自立訓練事業：主任支援員)

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年20回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援した。

ア. 利用者が安全に通所できるように、通所時毎に利用者の体調を観察、把握した。また、感染症に関する情報を収集し、利用者・職員への注意喚起、手指消毒機器の設置等、施設内の衛生管理や感染症対策を行った。

イ. 体調不良者からの聞き取り、感染症療養支援、疑いの方は、受診や経過観察のための指導を行った。

ウ. 新規利用者に対して効果的に訓練を実施できるよう、医療機関からの情報を基に令和6年度は8名のアセスメントを実施した。

エ. コロナワクチン接種を希望される利用者から相談を受け、スムーズに接種ができるよう支援した。

内容	実施日等
体重・脈拍・血圧測定	通所後、測定
身長・平熱測定	毎月、月初めの通所日
健診	事業として、各種健診は対象外 個別の相談に応じ、主治医への受診を促す

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。令和6年度は、東京都重症心身障害児（者）通所事業が開始されたことを受けて医療的ケア対象利用者を主とした医療ケア相談の機会を年間10回に増やし、医療面での体制強化に努めた。また、日常の医療的ケアに関する疑問や確認事項は、主治医とメールや電話連絡にて確認を行った。

ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。

イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックの実施により疾病等の早期発見に努めた。

ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。

エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。

オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、

施設内の衛生管理を行った。

カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組めるよう調整した。

内容	実施日等
健康診断	年1回実施
歯科検診	年2回実施
体重・脈拍・血圧測定	通所後、測定
身長・平熱測定	毎月、月初めの通所日

(2) 関係医療機関・嘱託医

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	内容	回数	
		自立	生活
(西武沼袋医院)	内科	20回	4回
(石坂整形外科)	整形外科・理学診療科	20回	4回
(銀河クリニック)	精神科	1回	4回
(神戸歯科医院)	歯科	0回	2回
心身障害児総合医療療育センター	指導医による医療的ケアの確認と相談	0回	10回

(3) 感染症予防・対応

① 新任職員入職時や感染症が流行前に医務が中心となって感染予防・対応（吐物処理等）を伝え、予防に努めた。

毎日、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。

② インフルエンザワクチン接種を希望する職員が嘱託医のクリニックで接種できるよう調整を行った。また、感染症が流行した際に拡大防止に努めた。

名称	日時	内容
感染予防委員会	7/16	感染予防に関する研修

(4) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、食事指導、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

① 自立訓練

理学療法			作業療法		
	実施回数	実施延べ人数		実施回数	実施延べ人数
4月	36回	52名	4月	20回	26名
5月	36回	44名	5月	19回	20名
6月	23回	30名	6月	14回	14名
7月	24回	34名	7月	9回	10名
8月	24回	37名	8月	20回	23名
9月	19回	43名	9月	20回	30名
10月	37回	58名	10月	23回	31名
11月	33回	59名	11月	21回	31名
12月	34回	53名	12月	21回	25名
1月	32回	51名	1月	26回	28名
2月	33回	56名	2月	20回	28名
3月	34回	58名	3月	21回	30名

② 生活介護

理学療法			作業療法		
	実施回数	実施延べ人数		実施回数	実施延べ人数
4月	3回	24名	4月	3回	33名
5月	5回	35名	5月	3回	32名
6月	4回	34名	6月	4回	44名
7月	6回	35名	7月	4回	43名
8月	7回	44名	8月	3回	35名
9月	4回	30名	9月	3回	38名
10月	4回	31名	10月	3回	33名
11月	5回	39名	11月	3回	32名
12月	3回	20名	12月	4回	41名
1月	3回	21名	1月	3回	33名
2月	3回	23名	2月	3回	31名
3月	3回	22名	3月	5回	53名

7. 給食・調理

(1) 委託業者

会社名：株式会社CTMサプライ
 所在地：東京都台東区西浅草3-4-2
 電話：03-6457-8282
 FAX：03-6457-8283

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペー
 スト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(2) 給食委員会等

名称等	内容	回数
給食会議	月一回定例会議を実施した。献立の確認、行事や季節に合わせたメニューを提案し、利用者へ円滑に給食を提供することができた。	12回
給食試食会	家族を対象として実施した。	2回
給食嗜好調査	利用者へアンケートを配布。回答を業者へ	1回
お誕生日メニュー	月に1回、普段よりも豪華なメニューで彩られた食事を提供した。	12回
郷土料理メニュー	月に1回、世界の郷土料理を給食のメニューに取り入れ提供した。	12回
行事食	各季節や行事に合わせたメニューを提供した。	12回

(3) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

8. 危機管理

(1) 事故防止・対応

① 自立訓練

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	2	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0

9月	1	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	1	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	1	0	0

②生活介護

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	6	0	0
5月	4	0	0
6月	5	0	0
7月	5	0	0
8月	5	0	0
9月	4	0	0
10月	1	0	0
11月	1	0	0
12月	0	0	0
1月	3	0	0
2月	3	0	0
3月	0	0	0

(2) 緊急時対応等

施設及び関係機関の様々な状況を想定して緊急連絡網を整備し、万が一の際に適切に家族と状況を共有できるよう備えた。地域の障害をお持ちの方の有事の際の避難経路を区民センター職員、消防署とともに確認を行った。

(3) 情報漏えい対策

日時	研修・訓練名等	人数
5月8日	テラステーションの破損、データ移行に関して	16名
1月30日	情報セキュリティー園内研修	12名

漏洩事故件数	0件
--------	----

(4) 障害福祉サービス費請求事務

請求事務に関する事故件数	0件
--------------	----

(5) 特定個人情報（マイナンバー関連書類・データ等）の管理

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

9. 防災訓練関係

（1）自衛消防体制

大規模災害に備え、防火管理者を中心に消防計画を作成するとともに、火災や地震による災害の予防対策を行い、区民活動センターと合同の総合防災訓練を2回実施した。自衛消防体制の確認を行った。

救命救急講習	5/29	2名
防火管理者講習	11/6, 7	1名

（2）避難訓練

① 運営

会館利用者に対して、避難経路の確認を実施した。

② 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
6/17.3/14	全体参加 人数 30名	5/16.10/2.11/26.2/13	延べ 人数 10名

③ 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	5回
6/17.3/14	全体参加 人数 30名	5/30.7/17.9/30.11/26.2/5	延べ 人数 117名

（3）大規模地震・災害対応

年間2回の総合防災訓練に加え、備蓄品等の整理や。有事の際、車いす利用者の避難をスムーズに行うため、防災用品の購入をした。

また、二次避難所としての動きを会館内で確認した。

10. 家族（保護者）との連携

（1）生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 年6回、毎月第3金曜日に家族連絡会を開催し、施設からの連絡・行事や活動報告、家族との意見交換の場とした。
- ④ 中間時・年度末ともに個別支援計画書の作成・見直し・報告は書面でのやり取りに切り替え、利用者・家族の意向を踏まえた計画を作成した。
- ⑤ 例年どおり「ぬまりんピック」を実施し、家族の見学も可能とした。
- ⑥ 両チームごとに保護者懇談会を実施し、活動の様子や取り組みについてスライドを用いて紹介し、コミュニケーションをとる場を設けた。また、給食試食会も同日に実施した。

家族連絡会	6回	延べ人数	36名
個人面談	8回	延べ人数	16名
保護者懇談会	2回	延べ人数	6名
給食試食会	2回	延べ人数	3名
健康・食事相談	2回	延べ人数	2名

1.1. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 会館祭りは、コロナウイルスの流行以前の形ではなく、飲食販売を再開し、キッチンカーを呼ぶ等した。区内障害者団体の販売や地域団体の催し物を提供する場を設けた。
- ② コロナ感染症の感染防止のため、緑野小学校で開催された地域のお祭りへ参加した。自立訓練の利用者も参加し、地域の住民・子供たちとかかわることができた。
- ③ 保育士実習及び看護実習（地域での看護師の役割を知る）の受け入れを実施した。
- ④ アルモニーは、展示を行った。区内の障害者施設からの利用の問い合わせも増えたため、貸出し展示会を行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

自立支援協議会	回数	参加者
施設系事業者連絡会	5回	施設長

相談支援部会	2回	生活介護支援員
差別解消部会	3回	自立訓練主任

中野区高次脳機能障害支援者連絡会	1回	自立訓練主任
自立訓練懇談会（東京都主催）	1回	自立訓練主任

（3）実習・ボランティア等受け入れ状況

① 自立訓練

- ア．社会福祉士施設援助技術現場実習
上記研修受け入れ資格者不在のため、なし
- イ．介護福祉士現場実習
受け入れなし
- ウ．特別支援学校高等部生徒体験実習等
受け入れなし
- エ．その他

学校名・施設名	人数	期間
国際短期大学	2名	3/3～7
筑波大学附属視覚障害特別支援学校 理学療法士コース	3名	11/6
看護実習	4名	1/20～1/22
	6名	2/3～2/5

オ．ボランティア

内容	人数	回数
地域活動内、伴奏	1名	25

② 生活介護

- ア．社会福祉士施設援助技術現場実習
上記研修受け入れ資格者不在のため、なし
- イ．保育実習

学校名・施設名	人数	期間
淑徳大学	2名	12/5～12/20

- ウ．介護福祉士現場実習
受け入れなし

エ．特別支援学校高等部生徒体験実習等

学校名・施設名	人数	期間
永福学園	1名	10/7～10/9
	1名	10/15～10/17

オ．その他

看護実習	4名	1/20～1/22
------	----	-----------

	6名	2/3～2/5
--	----	---------

カ. ボランティア

会館祭りボランティア	13名
------------	-----

12. 会議・委員会

(1) 法人関係

施設長会議 (オンライン会議7回 参集4回)	11回	主任係長会 (オンライン会議3回) (参集会議5回) (事業所見学会1回)	9回
事務連絡 (オンライン会議)	2回	看護師連絡会 (参集)	2回

(2) 施設関係

運営会議	3回	医務会議	12回
運営協議会	1回	会館まつり全体会議	2回
虐待防止委員会	6回	会館まつり担当者会議	3回
人事考課者会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議	12回	全体職員会議	1回
バス運行会議	4回		

(3) 区関係

自立支援協議会 全大会	1回	入所情報連絡会	1回
相談支援部会	4回	施設系事業者連絡会	5回
差別解消部会	4回		

(4) サービス事業別会議

① 自立訓練 (機能訓練)

職員会議	12回	支援員会議	6回
------	-----	-------	----

② 生活介護

職員会議	12回	個別支援計画会議	15回
グループ会議	15回	家族連絡会	6回
リーダー会議	12回	ケース会議	2回

1 3 . 研修計画・大会参加

(1) 研修実績 会館運営

① 育成会関係

開催日	研修名・内容	主催	人数
1 1 月 2 7 日	人事考課研修（施設長対象）	法人人事考課担当	1 名

② 中野区関係

開催日	研修名・内容	主催	人数
1 1 月 5 日	年末調整における定額減税の説明会	板橋税務署（参集）	1 名
2 月 2 1 日	意思決定支援及び合理的配慮の提供について	中野区事業所連絡会	1 名

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
1 1 月 5 日	年末調整における定額減税の説明会	板橋税務署（参集）	1 名

④ 他施設職員研修

実績なし

② 施設内研修

実績なし

(2) 研修実績 自立訓練

① 育成会関係

5 月 14 日	人事考課研修（中級編）	1 名
7 月 12 日	ずっとこの街で暮らしていくために	1 名

② 中野区関係

実績なし

③ 東社協関係

実績なし

④ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
5 月 28 日	精神保健福祉基礎研修	東京都立中部総合保健福祉センター(web)	1 名
10 月 1 日	障害者施設における感染症対策	東京都健康安全研究センター (web)	1 名

10月8日 9日 11月18日 1月21日 22日	相談支援初任者研修	東京都心身障害者福祉センター地域支援課	1名
11月1日	支援者のセルフケア	東京都精神保健福祉センター (web)	1名
11月6日 7日	甲種防火管理 新規講習	一般社団法人 日本防火・防災協会	1名
11月7日	ひきこもりにおける家族支援の重要性を学ぶ	東京都立中部総合保健福祉センター(web)	1名
11月26日	令和6年度南関東エリア就業支援実践研修	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	1名
11月29日	解決志向アプローチを学ぶ	東京都精神保健福祉センター (web)	1名
12月5日	かかわりが困難な方への支援～利用者・家族によるハラスメントへの対応～	東京都立中部総合保健福祉センター(web)	1名
1月24日	発達障害者支援研修2	東京都立中部総合保健福祉センター(web)	1名
2月13日	Microsoft 365	協立情報コミュニティーソリューションスクール	1名

⑤ リアライズ研修

実績なし

⑥ 施設内研修

7月8日	コミュニケーショングループワーク	事業内看護師	6名
3月28日	事例検討グループワーク	なし	5名

(3) 研修実績 生活介護

① 育成会関係

4月17日	フォローアップ研修会 (2024年障害福祉サービス等報酬改定内容)		1名
4月 18.19.25日	新任研修 (WEB)		2名
6月11日	人事考課研修 (新任編)		1名
7月12日	東京都育成会大会		1名

6月25日 8月20日	2年目研修	1名
8月28日	新任研修（中途採用職員用）	1名
8月9日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1名
10月9日 12月3日 1月10日 2月5日 3月17日	第二期 ABA プラスワン	1名
1月14日	人事考課研修（新任編中途採用者向け）	1名

③ 中野区関係

2月21日	意思決定支援及び合理的配慮の提供について	1名
-------	----------------------	----

④ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
5月29日	救命講習	中野区消防署	1名
9月3日	社会福祉従事者人権研修	東京都福祉人材センター（web）	3名
10月8日 9日 11月18日 1月21日 22日	相談支援初任者研修	東京都心身障害者福祉センター地域支援課	1名
12月9日	障害当事者からみた地域移行・地域生活支援課題を共有する	東京都心身障害者福祉センター（web）	1名
3月3日	Microsoft 365	協立情報コミュニケーションスクール	1名

⑤ リアライズ研修

実施日	研修先	人数
7月11日	施設長 スタートアップ研修（スマイル高円寺）	1名
12月10日	リアライズ研修／他施設見学（練馬区立貫井福祉園）	1名

⑥ 施設内研修

実施日	研修名・内容	主催	人数
1月30日	情報セキュリティー研修	（動画視聴）	10名
6月14日	ABA 応用行動分析学	人材育成担当次長	21名

7月8日	虐待防止研修（主任対象）	外部委員	2名
7月8日	虐待防止研修「虐待防止を事例から学ぶ」	外部委員	20名

（４）人材育成

リーオンミーを活用する中で、各事業で常勤、パート職員関わらず虐待防止に関する動画を視聴し、内容を共有した。

（５）大会参加

育成会大会

10月4日	大研修会	1名
7月12日	都大会	4名
9月28日	第58回関東・甲信越大会 新潟大会	1名
10月12.13日	第9回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会秋田大会	1名

1.4. 労務管理

（１）職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	令和6年11月～令和7年2月	25名
特定業務従事者健康診断	該当なし	

（２）安全衛生推進体制

役割	構成（職名・姓名）
産業医	該当なし
衛生管理者	施設長
衛生委員会（月1回）	医務会議に合せて実施
衛生推進者	看護師

衛生推進者の役割

- ① 労働者の健康障害を防止するための措置（随時）
- ② 労働者の衛生のための教育の実施（入職時および年2回）
- ③ 健康診断の実施や健康保持増進のための措置（必要時）
- ④ 労働災害の原因の調査および再発防止対策（衛生に関連するもの）
（必要時随時）

月	取組	内容	人数
10月	① ②③	雇い入れ時 安全衛生教育	2名
11月	① ③	健康診断受診及びインフルエンザ流行に関する	17名

		注意喚起	
12月	① ②③	雇い入れ時 安全衛生教育	1名
1月	① ②③	雇い入れ時 安全衛生教育	2名
3月	①	ノロウイルスの感染状況の確認及び注意喚起	15名
	① ②③	雇い入れ時 安全衛生教育	1名

(3) 勤怠状況

時間外勤務・休日出勤 前年度比 (今年度事業所総時間外勤務時間数+休日出勤時間数)	時間数 =630.7	123.8 %
(前年度事業所総時間外勤務時間数+休日出勤時間数)	=509.3	
年次有給取得率 前年度比 (今年度事業所総有給取得日数)	日数 =538.3	110.4 %
(前年度事業所総有給取得日数)	=487.4	

(4) 職場におけるハラスメント対応体制

役割	氏名
ハラスメント対応責任者	(法人事務局長)
ハラスメント相談窓口	
ハラスメント事業所相談窓口	(自立)
	(生活)
相談実績(件数)	0件

(5) メンタルヘルス・ストレスチェック制度

① メンタルヘルス

法人外相談窓口	東京メンタルヘルス株式会社	メンタルサポートネット
法人内相談窓口	職員悩みごと相談窓口 担当	

② ストレスチェック制度

職務名	氏名
ストレスチェック制度担当者	法人事務局長
ストレスチェック制度実施者	株式会社 HL&E
ストレスチェック実施事務担当者	法人事務局人事労務部門所属職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 HL&E 精神科医
実施日程	2025(R7)2/2/17~2025(R7)/3/9

(6) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実施件数・人数
子供参観日	実績なし
職場体験等受け入れ	1件（10月8日～10月10日）： 2人

15. 指導・監査・調査等

（1）福祉サービス第三者評価

中野区が指定管理施設に対して、その指定期間中に実施する。今年度、受検し、概ね良好な結果を得た。

① 自立訓練事業

特に良いと思う点	さらなる改善が望まれる点
社会生活向上のために外出支援に力を入れ、会館近くから初めて徐々に行動範囲を広げていけるように支援している。	利用者の増加に向けた事業の理解の促進、情報発信、関係機関とのさらなる連携強化などの継続した取り組みに期待したい
適切に器具を使用したり、声掛けや質問の方法を工夫する等して、利用者と思疎通を図り、人間関係に配慮している。	チームとしての支援体制の充実、職員間の連携・協力体制の強化への取り組みに期待したい。
安全第一に訓練することを基本とし、嘱託医や主治医との連携、その日の体調に応じた訓練内容の調整を行っている。	口頭や経験による技術の継承とともに手順書（マニュアル等）の整備や活用、定期的な更新等の取り組みに期待したい

② 生活介護事業

特に良いと思う点	さらなる改善が望まれる点
看護師・理学療法士・作業療法士と連携して利用者の健康維持・向上に取り組み、緊急時に備えた体制を整えている。	医療的ケアの利用希望者の増加などを背景に、生活の質や周囲の状況を精査したうえで、適切なサービス資源活用の検討に期待したい。
満足度調査や家族連絡会、グループごとの家族懇談会を通じて必要な情報の伝達、職員との信頼関係構築や家族観交流に取り組んでいる。	家族の高齢化に対し、日常的に情報を共有し、利用できるサービスの利用を促すなど、将来を見据えた家族支援が望まれる。
利用者の活動の活性化、個別支援の充実に向けて、職員が一体となってチームとしての利用者支援に取り組んでいる。	個別支援のさらなる充実に向けて、支援業務のICT化の推進や業務の効率化への継続した取り組みに期待したい。

（2）満足度調査

福祉サービス第三者評価受審年度の為、満足度調査は実施せず。評価の結果については家族会等で公表した。

(3) 中野区労働環境モニタリング

指定管理中に1回の実施予定。今年度の実施はなし。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）

(4) 第4期

令和6年度4月1日から令和11年3月31日（5年間）

17. 決算

別紙参照